

令和3年度 基本方針

鹿児島県弓道連盟

○ はじめに

昨年度は、鹿児島国体をはじめ当初計画した審査会・競技及び講習会等は新型コロナウイルス蔓延の影響でほとんどの行事を中止もしくは延期をせざるをえなかった。

このため、会員の意欲低下を招くなど本連盟の運営にも大きな影響を及ぼしている。

そのような状況下で、年末に実施された全国選抜高等学校弓道大会は団体競技のみの実施となったが、男女とも決勝トーナメントに進出し、男子団体の加治木工業高校が準優勝という成果をおさめた。

また、延期となった鹿児島国体は、令和5年に特別大会として実施することが決定したことから、あらためて大会の成功に向けて準備を進めることになった。

本年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響が残る状況にあると予想される中、感染対策を講じながら講習会、大会、審査会等の実施に向けて取り組み、弓道の普及・向上に努めることが重要であると考えている。

こうした情勢を踏まえ、本年度は次の事項を重点におき事業を推進する。

○ 令和3年度の重点事項

- 1 全日本弓道連盟の事業計画に即し、新型コロナウイルス対策を講じつつ講習会・審査・競技等の実施に向けて具体的な対応に取り組み、本県弓道の普及・向上に努める。
- 2 基本に徹する体配・射技射法の修練に心がけ、自らを高めることに専心すること、その成果を確認する機会としての審査会・各種競技会へ参加すること、を奨励する。
- 3 会員の技術力向上並びに指導者の資質向上を図るため、講習・研修体制の充実を図る。また、弓道教室開催への支援等初心者を受け入れ体勢を充実し底辺の拡充に努める。

さらに、各地区の道場においては、会員相互の融和と親睦を図るとともに、互いに切磋琢磨する弓道修練を奨励する。

- 4 かがしま国体が、令和5年に特別国体として開催されることが決定したことから、あらためて支部長をはじめ会員の皆様、競技役員をお願いしている方々へのご協力をお願いし、開催市の出水市と連携をはかりつつ連盟一丸となって大会運営の準備態勢を整える。

また、国体での上位入賞を目指して選手の競技力向上にも取り組む。